

第7回 日常診療経験交流会のご案内

日時 2017年11月3日(祝・金) 9:30~15:30
会場 M&Dホール、保険医会館2階・5階



○記念講演 (13:00~15:30) ▶▶▶M&Dホール

「健康長寿の鍵は“口”にあり」

～オーラルフレイルってなに?～



7月の厚労省の発表(平成28年簡易生命表)によると、日本の平均寿命は、女性が87.14歳、男性が80.98歳となり、いずれも過去最高を更新した。長寿はよいことであるが、一方で、病気や障害などによって要介護となる可能性も高くなる。厚労省は、平均寿命とは別に健康な日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」も発表しており、2013年のデータでは、女性が74.21歳、男性が71.19歳であった。つまり、女性で約12年、男性で約9年も何らかの介護を受けていることになる。

健康寿命の延長は先進国における共通の課題であり、世界中で研究が進められている。そのなかで近年注目されているのが、サルコペニアとフレイルである。健康番組や雑誌などでも取り上げられているが、具体的にはどのようなものなのか、また、生活習慣病やメタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームなどの違いなどを整理してみたい。これらをあえて一言でまとめると「からだの衰え」であるが、日本における最近の大規模調査で、からだの衰えとオーラルフレイルが関係していることがわかってきた。

オーラルフレイルとは「わずかな“口”の衰え」のことで、高齢者のからだの衰えが本格的になる前の、歯科に通える頃から口の衰えは始まっている。これを放置していると、やがて本格的な衰え(口腔機能低下症)となり回復が困難になってくるため、早めに気付いて対応することが重要である。また、日本人の死亡原因の第3位は肺炎であるが、最近では有名人が誤嚥性肺炎で亡くなったとのニュースが増え、誤嚥や摂食嚥下障害は一般的な言葉になりつつある。この分野でも口腔機能は重要であり、歯科が深く関わるようになってきている。市民の皆様には“口”の大切さを再認識していただき、保険でよい歯科医療を受けられることの重要性をご理解いただければ幸いである。(岩佐康行)

原土井病院 歯科部長
摂食・栄養支援部長
岩佐 康行氏



【略歴】2000年 東京医科歯科大学大学院口腔老化制御学分野修了/2001年 特定医療法人原土井病院歯科に勤務(現在に至る)/著書に「介護の味方 これからはじめる認知症高齢者の口腔ケア」「若手歯科医師のための高齢者歯科ハンドブック」等。

○ランチョンセミナー (12:00~12:45) ▶▶▶保険医会館5階

「認知症患者とともに」～認知症カフェの取り組み～

守口市開業・医師
井上 美佐氏



○分科会 (9:30~11:50) ※以下は第1と第2分科会で予定している演題

	第1分科会 (保険医会館5階)	第2分科会 (保険医会館2階)
● 9:30~ 9:50	「親子での医院継承について」 枚方市・小山賢一、小山栄三先生	「口腔不良習癖の改善で歯列不正を早期に改善に導く取り組み」 港区・富本昌之先生
● 9:50~10:10	「ケアマネジャーからみた訪問歯科診療」 西成区・山田英樹ケアマネジャー	「舌診について」 八尾市・矢部あづさ先生
● 10:10~10:30	「徹底解説! スポーツドリンク&経口補水液の虚像と実像」 ～歯と体を守る飲み方について～ 浪速区・豊田裕章先生	「睡眠時無呼吸症候群(SAS)」 淀川区・池尻良治先生
● 10:30~10:50	「田島診療所歯科における無料低額診療のとらえ」 生野区・三藤宏美歯科衛生士	「診療所での義歯改造とこれからの在宅診療」 東大阪市・大谷学先生
● 10:50~11:10	「子どもの歯列不正と咬合異常の予防」 堺市・畑崎清孝先生	「歯科訪問診療体制構築と『介護保険勉強会』活動」 一訪問歯科のニーズは「かかりつけ歯科」には届かない— 吹田市・福原稔先生
● 11:10~11:30	「カンジダを勉強し直してみた」 東大阪市・西川眞二先生	「診療所で摂食嚥下への取り組みを始めてみました」 西成区・渡邊充春先生

11月3日
(祝・金)
第7回
日常診療
経験交流会に
参加を
申し込みます

参加者氏名	職種 (チェックを)	参加区分 (○を)	昼食申込(○を)
	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> DH・助手	午前・ランチョン・午後	要・不要
	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> DH・助手	午前・ランチョン・午後	要・不要
	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> DH・助手	午前・ランチョン・午後	要・不要

○参加費
無料

○昼食代
1,000円
(事前申込制)

参加希望の方は、上記に記入のうえ FAX: 06-6568-0564 までご返送ください

会員名

地区

電話番号